

読書教育重点校活動報告

2011.3.25 大津町立大津北小学校



昨年度から本年度にかけ、本校は、教育会館より「読書教育重点校」の助成を受け、読書活動の充実を図ってきました。この2年間で、児童が更に本に親しみ、意欲的に本を読む姿が見られるようになりました。ここでは、本校の主な活動状況についてご紹介します。

本年度本校研究テーマとの関連

本校教育目標

大津北小に誇りを持ち、進んで勉強し、友だちと助け合い、心身共にたくましく生きぬく子どもの育成

確かな学力を身につけ、生き生きと活動する児童の育成を目指して

～国語科における「読む能力」を高める言語活動の工夫～

本校研究主題

<仮説1> 授業展開、発問、指導法等を改善し、学年に応じた身につける「読む能力」を高める言語活動を工夫すれば、児童が文章の内容を深く読み取り、読み取ったことを自分の言葉で伝え合う力が高まるであろう。本年度より、大津町全体で、NIEの取組が始まり、本校でも、様々な取組を行っています。

<仮説2> 様々な機会を通して文章に親しみ、読書の幅及び質を高めたり量を増やしたりする工夫をしていけば、児童が読書に意欲的に取り組み、その中で多様な表現や語彙を獲得することで、児童の「読む能力」を高めることができるであろう。



読書活動の充実



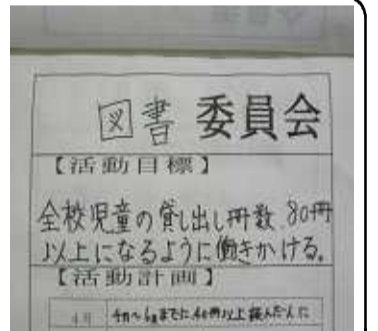
東市子理事長(右)より児童は、新刊図書を、すぐに手にとって読んでいました。

本年度も、教育会館より、10万円分の図書券をいただきました(写真左は昨年度の様子)。本年度もさっそく、新刊図書を中心に、児童に人気のある本や、是非読んでほしい本等を購入しました。



平成22年度 図書委員会メンバー (写真は12月のBSD発表会での様子)

本校図書委員会では、右の写真のように、本年度の活動目標を「全校児童が一人あたり80冊以上本を読めるようにする」と、昨年度目標の50冊より30冊増冊した目標に設定。



保護者ボランティアグループ「BSD」(ブック・スマイル・ドリーム)の読み聞かせ活動

本校では、毎週木曜日の朝自習を「読書の時間」とし、保護者ボランティアグループ「BSD」(ブック・スマイル・ドリームの略称)による読み聞かせや読書活動を行っています。朝の限られた時間に、都合がつくメンバーによるボランティア活動です。児童も楽しみにしています。



BSDによるエプロンシアター

11月にはBSDの企画による「オハナシマンの読み聞かせ会」を行いました。地域で読み聞かせ活動を続けておられる「よみきか戦隊オハナシマン」こと坂本健一さんによる絵本の読み聞かせは、児童はもちろん、先生方にも大変好評でした。



オハナシマンの読み聞かせ会

12月には、「BSD発表会」が行われました。毎年恒例となったこの活動は、劇やパネルシアター等、児童が楽しみにしている活動で、児童が本に親しみをもつきっかけの一つになっています。これらの活動が、本年度の児童の読書冊数の増加につながっています。



BSD発表会

本年度も、本校図書委員会の児童が、BSDのみなさんによる木曜朝の読み聞かせの際、BSDメンバーが来られない学級に対して、自主的に読み聞かせ活動を行っています。聞く児童はもとより、読み聞かせを行う図書委員会の児童にとっても、楽しい時間になっています。



図書委員会による読み聞かせ

本年度、図書委員会では、11月の読書月間に「こいぬのうんち」の絵本をペープサートにして児童集会で発表しました。昼休みや放課後に自主的に集まって、ペープサート作りや、練習に取り組みました。発表は全学年の児童が真剣に聞いてくれて、感動の輪が広がりました。



図書委員会によるペープサート

図書委員会では、本年度の目標に向けて、全校児童にもっと読書に親んでもらおうと、クリスマスの時期にちなんだアンデルセン原作「もみの木」という紙芝居を行いました。役割分担から練習、本番まで児童が自主的且つ意欲的に取り組む姿が見られ、全校児童に楽しんでもらいました。



図書委員会による紙芝居

読書の山のぼり



読書の山のぼり

本校では、児童の読書冊数を「読書の山のぼり」として図書室横に掲示しています（12月15日現在）。最下段は20冊、最上段は100冊を超えた児童です。3月で100冊を超えた児童は29名、中には200冊を超えた児童も3名いました。

校内童話発表会



校内童話発表会

本校では、夏休みに行われる町童話発表会に向けて、6～7月にかけて、各学級で取り組んでいます。全校児童が自分の選んだ童話を暗記、読み方を工夫した上で、7月に各学級で行われる予選会に臨みます。そこで選ばれた各学級代表2名による校内童話発表会を経て、学校代表を選出しています。

ファミリー読書、読書ビンゴ



ファミリー読書

本年度は、「ファミリー読書」「図書館ツアー」「読書ビンゴ」等、様々な企画を行いました。「ファミリー読書」は保護者の方々にも協力をお願いして、家庭で一緒に本に親しむ時間を作っていただきました。「我が子と一緒に時間がつくれた。」「一緒に涙しながら絵本を読んだ。」等、多くの感想が届きました。

100冊読書児童表彰



図書委員長によるベストリーダー表彰

図書委員会では、10月、1月、3月に100冊を超えた児童を「ベストリーダー」として紹介し、図書委員長より表彰を行っています。本年度100冊を超えた児童は29名で、そのうち200冊を超えた児童は3名でした。このことから、児童の読書意欲の高さが継続していたことがうかがえます。（写真は昨年度）

学校図書館の活用



「今日は何の日」コーナー

本年度は、大規模改修が行われ、図書館も、装いも新たに、リニューアルオープンしました。写真左は、図書館入り口付近に設置された、「今日は何の日」コーナーです。その日その日の歴史上の出来事が紹介されています。児童は、自分の誕生日等にどんな出来事があったか、興味をもっていたようです。また、先生方も、児童への話題作りの一つとして、参照されていた方もおられたようです。

写真右は、各家庭で眠っている本を再活用するために設置された「本の駅」コーナーです。児童の読書の幅及び質を高める手段の一つとして、一役買っていたようです。

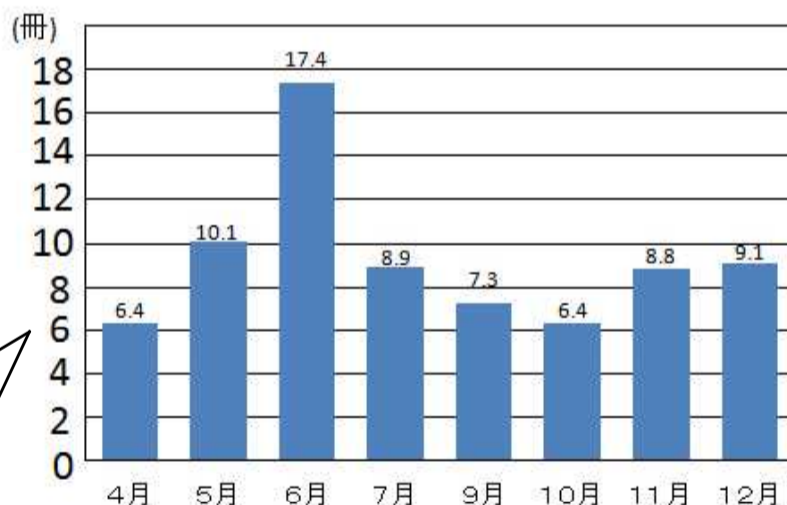


「本の駅」コーナー

取組の成果と課題

児童一人あたりの月別図書貸出し冊数から

右のグラフは、本年度の児童一人あたりの図書貸出し冊数の月別推移を示しています（12月まで）。このグラフから、まず、6月において、一人あたり貸出冊数が17冊を超え、5、7、11、12月も10冊近くに上っていることがわかります。6月には、「読書旬間」を設け、「ファミリー読書」「読書ビンゴ」「図書館ツアー」等、様々な取組を行っています。また、図書委員会による「読書の山登り」の取り組みも始まっています。11月には、BSD主催で、オハナシマンの読み聞かせ会及び図書委員会による「読書ビンゴ」を、さらに12月には、BSD発表会を行っています。加えて、定期的に100冊を超えた児童への表彰を行っています。このことから、これらの取り組みで、児童の読書に対する意欲が高まる効果が見られたといえます。尚、本年度の児童一人あたり図書貸出し冊数は、月平均で9.3冊（7月、8月をまとめ一月として計算）でした。昨年度が9.67冊であったことから、冊数としては、昨年同様の結果となりました。今後は、読書の幅及び質を高める具体的な取組を、更に進めていきます。



学年別・分類別図書貸し出し冊数割合から

本校の本年度図書貸し出し冊数は、3月25日現在で、7702冊に達しました。これは一人あたりに換算すると約85冊になり、平均では図書委員会の本年度目標である「80冊以上」を達成しました。昨年度一人あたり読書冊数が約67冊であったことから、児童が更に本をたくさん読んだことがわかります。右のグラフは、各学年一人当たりの分類別図書貸し出し冊数割合を前期と後期で比較したものです。このグラフから、おおよそ次のことが言えます。

どの学年も、「絵本」と「文学」の割合が大半を占めている。

この2つは、普通「読書」という場合に読むジャンルです。この2つ以外のジャンルは、主に調べ学習、観察・実験等に利用されることから、今後、授業等での更なる活用を図ることが望まれます。絵本については、前期の童話発表会に向け、児童が、意欲的に取り組んでいる実態がわかります。

おおよそ上学年ほど「絵本」の割合が減り、「文学」の割合が増えている。

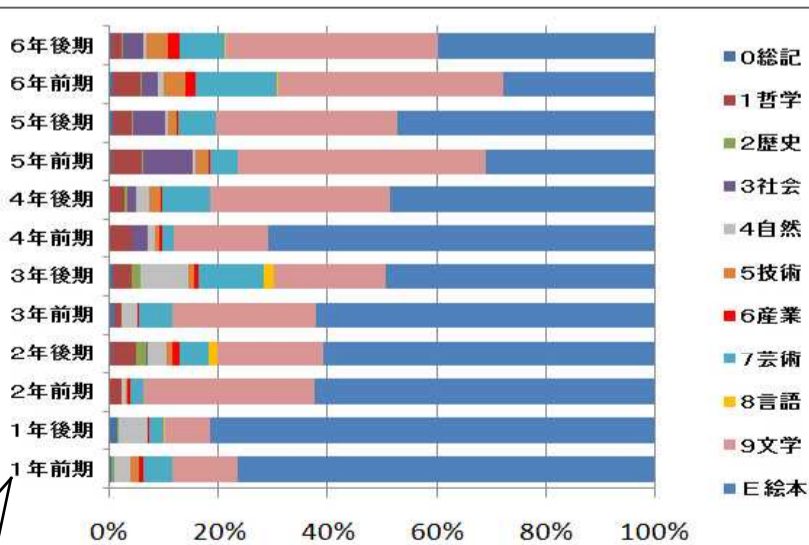
本校児童が、発達段階に応じて次第に文字量の多い本を好むようになっていくことがわかります。実際に、「文字の多い本が好きになってきた。」との声が聞かれました。

おおよそ各学年とも、後期が「絵本」の割合が減り、「文学」の割合が増えている。

このことから、本年度の様々な取組が、児童の言語に対する関心を高めていると言えます。今後の更なる取組が望まれます。

学年によって、「文学」「絵本」以外のジャンルの増減に特色がある。

おおよそ、どの学年も、一人当たりの本の貸し出し冊数は、前期よりも後期が増加している傾向にあります。このことを踏まえると、「文学」「絵本」以外のジャンルの増減は、各学年の取組等の傾向を反映していると言えます。



以上のことから、二年間の取組で、児童が本に親しみ、意欲的に本を読むようになったことが明らかとなりました。今後は、更に様々なジャンルの本に親しんだりするために、具体的な手立てを講じていきます。また、読書量の個人差を更に少なくするための取組も進めていきます。二年間の本校読書教育に対する御支援に感謝申し上げます。

